



計画策定の趣旨

自転車は、利便性や経済性に優れ、健康的で環境にも優しいことから、札幌市でも、通勤・通学、買物など、さまざまな目的で利用されています。しかしながら現状では、歩道上における迷惑駐輪や自転車と歩行者の事故の増加など、多くの課題も顕在化しています。

そこで札幌市では、様々な立場からの意見を集約し、今後の施策に反映させるため、平成21年2月に、有識者や市民委員で構成される「自転車利用のあり方検討会議」を設置し、約1年にわたる議論を経て、平成22年4月に「札幌市における自転車利用のあり方 提言」を受けました。

このようなことから、提言の趣旨や、さらにこれまで実施した自転車に係る各種調査結果等を踏まえ、札幌市における現状での自転車問題の解消に向け、走行環境、駐輪環境、ルールやマナーなど、自転車に関する取り組みを総括した「札幌市自転車利用総合計画」を平成23年5月に策定しました。

札幌市全域を対象とした自転車利用環境の基本となる計画であり、計画期間は、2011年度(平成23年度)～2020年度(平成32年度)の10年間とし、具体的な取り組みの詳細については、アクションプログラムの中で取りまとめを行います。

計画の構成

- 計画の背景と目的、上位計画及び提言に基づく計画策定
- 課題解消に向けた計画

- 走行環境、駐輪環境、ルール・マナーに係る自転車利用の現状・課題
- 自転車利用環境の向上による歩行者環境改善の必要性

全国における自転車に関する動向
上位関連計画における自転車の位置づけ
札幌市における自転車に関する取り組み

計画の考え方

目標 『安全な自転車利用環境の実現による魅力的なまちづくり』

- 基本方針**
- 人を優先した、思いやりのある自転車利用環境への改善
 - 交通特性や地域特性、雪国の特性を考慮した自転車利用環境の構築
 - 市民・事業者・行政が一体となったパートナーシップによる施策の推進
 - まちの魅力向上のための自転車利用

具体的な展開方策

自転車走行空間の
明確化

総合的な
駐輪対策の推進

ルールやマナーの
効果的な周知と啓発



自転車利用の現況・課題

本市では都心部や駅周辺における自転車利用は増加傾向にあります。しかしながら、自転車利用環境が整っていないことや自転車利用者がルールやマナーを十分に認識していないことにより、歩道上における歩行者との交錯や迷惑駐輪による歩行環境の悪化などが課題となっています。

自転車の走行環境が整っていない

道路交通法では、自転車は車道の左側通行が原則となっているが、道路構造や交通規制により自転車の走行場所は道路毎に異なっている。また、ほとんどの道路において、自動車や歩行者と通行場所を共用する状況になっている。

自転車利用時のルール・マナーの欠如

歩道を走行する時に歩行者優先を意識しない、傘差し運転の経験があるなど、ルールを守らない、マナーを十分に認識していない自転車利用者がいる。

需要に対して駐輪場の供給が追いついていない

都心部や駅周辺における駐輪場は、約1.1万台不足している。また、附置義務制度による民間整備も進んでいるが、多くの建物が未だに従業員や利用者のための駐輪場を持たない状況にある。

安心して車道を走れない自転車

歩道上における歩行者との交錯

歩道上における迷惑駐輪

歩道走行の日常化

歩行環境の悪化

歩行者や自転車の安全性の低下

■札幌市内における全事故に占める自転車事故の割合の推移

年度	死傷事故件数	自転車関係する死傷事故件数	全事故に占める自転車事故の割合
H10	1,024	1,538	14.9%
H11	1,528	1,888	15.1%
H12	12,410	2,025	15.3%
H13	12,311	2,104	14.4%
H14	11,793	2,241	18.9%
H15	12,127	2,168	17.8%
H16	11,880	2,149	18.4%
H17	12,161	2,133	17.7%
H18	11,519	2,100	18.5%
H19	10,000	2,802	21.0%
H20	9,328	2,000	21.5%

■自転車対歩行者事故の死傷者数の推移

年度	事故件数(件)
H17	9
H18	13
H19	14
H20	15

札幌市における交通事故全体の死傷事故件数・死傷者数について、自転車事故の割合が増加しています。また、自転車対歩行者の事故による死傷者数が増えています。

景観の悪化

歩道上の自転車の走行・駐輪について、迷惑(又は危険)や歩きにくいなどの意識が高くなっています。

■歩道歩行中に自転車に迷惑(又は危険)と感じた経験

迷惑(又は危険)を感じた経験	割合
自転車がスピードを出して走ってきた	69.2%
走行してきた自転車とぶつかりそうになった(又はぶつかった)	48.4%
後ろから来た自転車にベルを鳴らされた	40.7%
迷惑(または危ない)と感じたことはない	10.2%
その他	5.6%
無回答	0.2%

■歩行者からみた歩道上の違法駐輪についての認識

認識	割合
非常に歩きにくく問題がある	59.9%
好ましくないが仕方がない	39.1%
景観を著しく損なっている	32.4%
特に問題ない	6.1%
わからない	4.2%
その他	3.2%

資料: H19市政世論調査